

～2020年(令和2年)を振り返る～

市職員が選んだ



鹿島市 10大ニュース

(1) 鹿島市で大きな被害 「令和2年7月豪雨」

停滞した梅雨前線の影響で鹿島市では、7/5～7/12の1週間の積算雨量が奥山観測所で1,017ミリを記録し、大災害をもたらした「昭和37年7・8水害」の1週間(7/1～7/8)の積算雨量742ミリを超える大雨が降りました。この雨により、浜川の一部氾濫や山間部の多くの場所で土砂崩れが起こり、家屋の倒壊や半壊、床上・床下浸水など100棟以上の家屋に被害が及びました。また、農地や農業用施設も大きな被害を受けました。現在、一日も早い復旧・復興に全力で取り組んでいます。



浜川護岸損壊(上) 土砂崩れによる家屋倒壊(下)

(2) イベント中止相次ぐ 新型コロナウイルス感染症影響

新型コロナウイルス感染症拡大や感染症まん延防止のために全国を対象とした緊急事態宣言を受けて、市内で開催される大きなイベントが相次いで中止となりました。2月の「鹿島祐徳ロードレース」、3月の「鹿島酒蔵ツーリズム」、「鹿島ガタリンピック」や夏の恒例イベント「鹿島おどり」、「鹿島市納涼花火大会」などこれまで長く続いてきたイベントも中止となりました。また、地域の伝統行事や祭りも延期や中止となるなど、大切な地域コミュニティの機会までもが失われる状況となりました。そして市内小中学校も感染症拡大防止のため、国や県の要請を受けて、3月3日から24日の間と4月21日から5月10日まで臨時休校となりました。



前回の「祐徳ロードレース」(上)、「鹿島ガタリンピック」(左下)、「鹿島おどり」(右下)の様子

(3) ふるさとづくり大賞 最優秀賞受賞 鹿島酒蔵ツーリズム

令和元年度(令和2年1月発表)の総務省「ふるさとづくり大賞」において、鹿島酒蔵ツーリズム推進協議会が最優秀賞に輝きました。ふるさとづくり大賞は、ふるさとへの情熱や想いを高め、豊かで活力ある地域社会の構築を図ることを目的に、全国各地で、「ふるさと」をより良くしようと頑張る団体、個人を表彰するもので、今回で37回目になります。今回の受賞は、鹿島酒蔵ツーリズムを地域住民や企業等を巻き込んだ市全体の取組に発展させ、9万人を超えるお客様が来場するイベントへと成長させたことや全国の類似した酒蔵ツーリズムの取組のモデルケースになったことが評価されたものです。



昨年の「鹿島酒蔵ツーリズム」の様子

(4) 市独自の新型コロナウイルス感染症関連経済対策

市ではこれまで、新型コロナウイルス感染症の影響を受けた飲食店、農林漁業者、貸切バス・タクシー・運転代行事業者などを対象に独自の支援を行ってきました。収入が前年比20%以上減少し、融資資金を借り受けた農林漁業者や農業法人への給付金の給付や貸切バス・タクシー等事業者への事業継続のための給付金の給付などの事業があります。特に、飲食店対象の経済対策「今こそ、家めし」や市内消費を喚起する「鹿島を元気に！家計もお店も『助かつ券』」事業は、事業者の皆様をはじめ市民の皆様にも好評で、地域経済回復に一定の成果がありました。



「今こそ、家めし！」
キャンペーンのロゴ

(5) 県立高校再編に伴い鹿島高校・鹿島実高閉校 新設鹿島高校へ引き継がれる

県立高校の再編統合に伴い、鹿島高等学校と鹿島実業高等学校が統合し鹿島高等学校が新設、その統合前の両校最後の生徒の卒業式に合わせて3月1日に閉校式が行われました。鹿島高校は昭和23年から72年、鹿島実高は昭和30年から65年の歴史に幕を下ろしました。式では、最後の卒業生や同窓生が参列し、校歌斉唱や校旗の引継ぎなどが行われ、両校の伝統や精神が新設された鹿島高等学校へと引き継がれました。



旧鹿島高等学校校門
(現鹿島高等学校赤門
学舎校門)



旧鹿島実業高等学校校門
(現鹿島高等学校大手門
学舎校門)

(6) 旧市民会館解体完了 新市民会館建設へ

新しい市民会館の建設に向けて、昨年11月から進めてきた旧市民会館の解体工事が本年2月に完了しました。53年もの間、市民の皆様の文化・芸術の活動拠点として思い出が詰まった施設が無くなり、寂しい気持ちになられた方もいらっしゃるかと思います。新しい市民会館は、その跡地に建設されます。新市民会館も市民の皆様の新たな文化・芸術活動の拠点となると同時に鹿島市のシンボルとして長い間親しまれる施設となるよう取り組んでいます。



解体前



解体後

(7) JR九州観光列車「36 ぷらす3」が肥前浜駅に停車

JR九州の観光列車「36 ぷらす3」が10月16日から運行を開始し、19日に初めて肥前浜駅に停車しました。「36 ぷらす3」は曜日ごとに九州の5つのルートを周遊する観光列車で、肥前浜駅には、博多から長崎ルートを走る月曜日に途中停車駅として停車します。この日は、浜駅がある地元の「肥前浜宿水とまちなみの会」が、駅で、東部中学校吹奏楽の演奏や保育園児の演技披露、地酒の飲み比べなど様々なおもてなしを企画し、列車の観光客を歓迎しました。



肥前浜駅に停車した「36 ぷらす3」観光列車

(8) 鹿島市防災マップ完成 全世帯へ配布

鹿島市で洪水や高潮、津波、土砂災害、地震が発生した場合の被害予測図などを示した「鹿島市防災マップ」が完成し、4月から5月にかけて事業所等を除く全世帯へ配布しました。この防災マップは、市民の皆様に日頃から身近にある災害の特徴や危険性について「知ってもらい」、「備えること」、そしていざ災害が起きた時の避難行動に役立てていただくために作成しました。災害種別ごとの被害予測図に加え、避難場所、災害の基礎知識などについても掲載しており、防災に大変役立つ冊子となっています。



市防災マップ表紙（左）と被害予測図の一部（右）

(9) 「現代の名工」に 東亜工機株の 洲上政徳さん

令和2年度の「現代の名工」に東亜工機株の洲上政徳さんが選ばれました。「現代の名工」とは、卓越した技能者表彰制度に基づき、厚生労働大臣によって表彰された卓越した技能者のことです。洲上さんは、長年にわたり大型船舶用エンジンの主要部品であるシリンダ・ライナ等の高級鋳物の鋳造に携わってこられました。製品は、安全面から強靱性や耐摩耗性を要求されるため、日々技術・技能の研鑽を行い、製造技術を向上されてきました。鹿島市では、ここ十数年で6人も選ばれており、「ものづくりのマチ鹿島」を支えていただいています。



「現代の名工」に選ばれた東亜工機株の洲上政徳さんと後ろは、東亜工機の鋳造技術で製造された佐賀藩鋳造鉄製150ポンド砲（復元）

(10) 全線4車線化 国道207号鹿島バイパス完成

かねてより工事が進められていた国道207号鹿島バイパスが完成し、全線4車線で通行できるようになりました。鹿島バイパスは、白石町深浦から鹿島市浜町までの9.2キロメートルの区間になります。昭和49年の事業開始から46年間をかけて、全線4車線化が竣工しました。4車線化の全線開通により、交通の混雑緩和や観光振興、沿線の開発による産業振興などが期待されます。

